

2024 年 7 月 24 日
茨 城 県

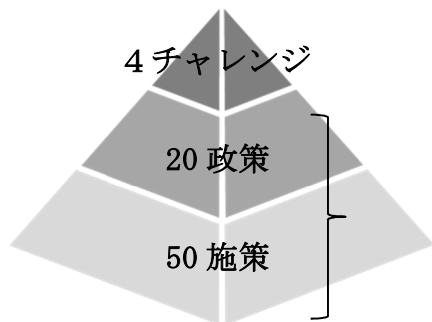
2024 年度（2023 年度分） 県総合計画（第 3 部）政策・施策に係る進捗状況について

1 政策体系と数値目標について

基本理念である「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、計画期間（2022～2025 年度）に取り組む、20 の「挑戦する政策」（4 チャレンジ×5 政策）を掲げ、具体的な施策、主な取組を整理しています。

また、政策・施策の目指すべき水準をわかりやすく示すため、合計 95 項目の数値目標（主要指標の目標）を設定し、政策・施策の成果等を毎年度分析・評価する基準とするとともに、施策や事業の改善にも活用します。

【政策体系及び数値目標】



【主要指標（95 項目）】

政策を構成する 50 施策における主要な指標

2 施策の評価方法及び政策の進捗状況の区分方法について

（1）50 施策の評価

「主要指標」の達成率から、「A」「B」「C」「D」の 4 段階で評価します。

A 達成率 100%以上	C 達成率 50%～75%未満
B 達成率 75%～100%未満	D 達成率 50%未満

なお、一つの施策に主要指標が複数ある場合には、達成率の平均値により評価します。

（2）20 政策の進捗状況

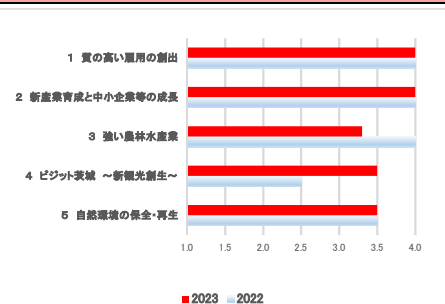
政策を構成する施策評価結果を数値化（A:4 点、B:3 点、C:2 点、D:1 点）し、その平均値により進捗状況を「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の 3 段階に分類します。

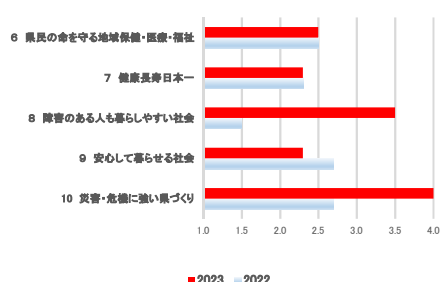
結果	施策評価の平均値
 「順調である」	4.0 点 ～ 3.0 点
 「成果をあげつつある」	2.99 点 ～ 2.0 点
 「取組の強化が求められる」	1.99 点 ～ 1.0 点

3 政策の進捗状況の結果について（総括）

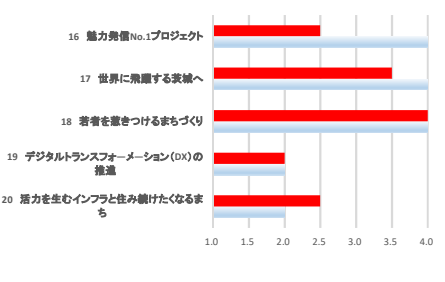
- ・2023年度における20政策の進捗状況について、「順調である」が11政策、「成果をあげつつある」が9政策、「取組の強化が求められる」が9政策となります。

区 分	2023	2022	増減
 「順調である」	11	10	+ 1
 「成果をあげつつある」	9	9	—
 「取組の強化が求められる」	—	1	▲ 1

新しい豊かさ				
区 分	2023	2022	増減	
 「順調である」	5	4	+ 1	
 「成果をあげつつある」	—	1	▲ 1	
 「取組の強化が求められる」	—	—	—	

新しい安心安全				
区 分	2023	2022	増減	
 「順調である」	2	—	+ 2	
 「成果をあげつつある」	3	4	▲ 1	
 「取組の強化が求められる」	—	1	▲ 1	

新しい人財育成				
区 分	2023	2022	増減	
 「順調である」	2	3	▲ 1	
 「成果をあげつつある」	3	2	+ 1	
 「取組の強化が求められる」	—	—	—	

新しい夢・希望				
区 分	2023	2022	増減	
 「順調である」	2	3	▲ 1	
 「成果をあげつつある」	3	2	+ 1	
 「取組の強化が求められる」	—	—	—	

4 20 政策の進捗状況及び今後の方向性について

I 「新しい豊かさ」のチャレンジ

進捗状況	分析・対応
1 質の高い雇用の創出	
 順調である	☆「成長分野等の企業の誘致」については期待どおりの成果をあげており、引き続き社会経済情勢を的確に捉えながら、半導体・次世代自動車関連などの今後も成長が期待できる産業への戦略的な誘致に取り組んでいく。 ☆「新たな産業用地の確保及び企業立地の加速化」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、企業の立地ニーズを的確に捉えながら、新たな産業用地の確保にスピード感をもって取り組んでいく。 【主要指標等】 ◆本社機能等の移転等を伴う新規立地件数（2022～23 累計）：87 件【期待値：80 件】 ⇒ 指標評価 A ◆新規開発による産業用地の面積（2022～23 累計）：137ha【期待値：107ha】 ⇒ 指標評価 A  ▲常陸那珂工業団地の拡張地区
2 新産業育成と中小企業等の成長	
 順調である	☆「先端技術を取り入れた新産業の育成と新しい産業集積づくり」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、新製品等の研究開発を行う企業に対する支援や産学間のマッチングを通じ、新たなビジネス創出を図っていく。 ☆「活力ある中小企業・小規模事業者の育成」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、地域産業の発展に向けて、製品化・実用化につながる取組によるビジネス創出や、M&A を活用した事業承継を推進していく。 【主要指標等】 ◆製品・技術・サービスの創出件数（2022～23 累計）：34 件【期待値：27 件】 ⇒ 指標評価 A ◆県の支援により新製品等の開発や新ビジネスを創出した件数（2022～23 累計）：92 件【期待値：74 件】 ⇒ 指標評価 A
3 強い農林水産業	
 順調である	☆「農林水産業の成長産業化と未来の担い手づくり」については概ね期待どおりの成果をあげており、昨年 5 月に策定した「茨城農業のビジョン」に基づく収益性の高い農業構造への転換に加え、林業の成長産業化を図っていく。 ☆「県食材の国内外への販路拡大」については概ね期待どおりの成果をあげており、話題性のある取組によりメディア露出を図りブランドイメージを定着させるとともに、戦略的な営業活動により高級店での販路拡大を図る。 【主要指標等】 ◆民有林における売上高 4 億円以上の経営体数：3 経営体（見込値）【期待値：3 経営体】 ⇒ 指標評価 A ◆県産農産物のうち重点品目の販売金額：166 億円【期待値：169 億円】 ⇒ 指標評価 B ※2023 年度から目標値を上方修正  ▲「常陸牛煌」のお披露目

4 ビジット茨城～新観光創生～



順調である

☆「稼げる観光地域の創出」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、観光資源の発掘や磨き上げ、付加価値の高い観光コンテンツの造成等に取り組み、差別化された魅力ある観光地域づくり、稼げる観光地域づくりを進めていく。

☆「インバウンドの取り込み」については概ね期待どおりの成果をあげており、本県の強みを活かし、ニーズに合わせた戦略的な誘客プロモーションを展開するなど、外国人観光客の誘客促進に取り組んでいく。

【主要指標等】

◆外国人延べ宿泊者数：
237,960人泊【期待値：181,000人泊】⇒ 指標評価 A

◆茨城空港の旅客数：
748千人【期待値：680千人】⇒ 指標評価 A



▲台湾インバウンドプロモーション

5 自然環境の保全・再生



順調である

☆「湖沼の水質浄化と身近な自然環境の保全」については概ね期待どおりの成果をあげており、引き続き、生活排水対策や農地・畜産対策などの浄化効果の高い事業に重点化し、湖沼の水質浄化対策を推進していく。

☆「サステナブルな社会づくり」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、再生可能エネルギーの導入促進や食品業界と連携したフードロスの削減などに継続して取り組んでいく。

【主要指標等】

◆湖沼に流入する汚濁負荷量（COD）：
10,934t/年【期待値：10,903t以下/年】
⇒ 指標評価 B

◆再生可能エネルギーの導入率：
29.2%（2022）【期待値：28.7%（2022）】
⇒ 指標評価 A



▲干しいも資源循環モデル形成支援事業

Ⅱ「新しい安心安全」のチャレンジ

進捗状況	分析・対応
6 県民の命を守る地域保健・医療・福祉	
 成果を あげつつ ある	★「地域における保健・医療・介護提供体制の充実」については引き続き強力な取組が求められ、デジタル技術を活用した救急搬送の円滑化・効率化などによる救急医療体制の充実や、市町村や医療機関と連携し、在宅医療に取り組みやすい環境整備に取り組んでいく。 ★「精神保健対策・自殺対策」については引き続き強力な取組が求められ、心の悩みや不安がある方が相談しやすいように多様な相談窓口を提供するとともに、関係機関と連携し、本人の抱える課題に対してきめ細かく支援していく。 ☆「健康危機への対応力の強化」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、感染症蔓延時や大規模災害時に病院の診療機能を維持・回復できるよう、対策の充実・強化に取り組んでいく。 【主要指標等】 ◆救急要請から医療機関への搬送までに要した時間： 48.3分（2022）【期待値：全国平均（47.2分）以下（2022）】 ⇒ 指標評価 D ◆自殺者数（人口10万人あたり）： 18.1人（2022）【期待値：14.6人以下（2022）】 ⇒ 指標評価 D ◆業務継続計画（BCP）を整備している病院数： 145箇所（災害対応）【期待値：136箇所】 ⇒ 指標評価 A 115箇所（感染症対応）【期待値：111箇所】  ▲救急現場で活躍する救急車両
7 健康長寿日本一	
 成果を あげつつ ある	★「人生百年時代を見据えた健康づくり」については引き続き強力な取組が求められ、集団健診の機会拡充などによる健診受診率の向上を図るとともに、予防のための運動習慣の定着や食生活の改善などを通じて県民の健康づくりを推進していく。 ☆「認知症対策の強化」については概ね期待どおりの成果をあげており、引き続き、認知症の人やその家族を見守り支援する事業所の増加等に取り組み、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる社会づくりを推進していく。 【主要指標等】 ◆特定健康診査実施率： 54.8%（2021）【期待値：59.0%（2021）】 ⇒ 指標評価 D ◆認知症の人が交流できる場の数（～2023累計）： 164箇所【期待値：165箇所】 ⇒ 指標評価 B  ▲いばらき美味しお Day

8 障害のある人も暮らしやすい社会

 順調である	☆「障害者の自立と社会参加の促進」については概ね期待どおりの成果をあげており、市町村における基幹相談支援センターの設置に向けた支援など、障害者が地域社会で安心して生活できる体制づくりに取り組んでいく。 ☆「障害者の就労機会の拡大」については期待どおりの成果をあげており、引き続き関係機関等と連携しながら、企業へ雇用創出を働きかけ、障害者の就労機会の拡大を図っていく。 【主要指標等】 ◆基幹相談支援センターの設置率：61.4%【期待値：70.0%】 ⇒ 指標評価 B ◆民間企業における障害者雇用率： 2.32%【期待値：2.28%】 ⇒ 指標評価 A
--	---

9 安心して暮らせる社会

 成果を あげつ ある	☆「地域の日常生活の維持確保とコミュニティ力の向上」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、持続可能な公共交通ネットワークの構築や地域コミュニティの形成促進を通じ、安心して暮らせる地域社会づくりに取り組んでいく。 ★「安心な暮らしの確保」については引き続き強力な取組が求められ、水道の普及や污水处理施設の整備を促進するなど、県民が安心して暮らせる環境の確保に取り組んでいく。 【主要指標等】 ◆コミュニティ交通の利用者数： 344 万人【期待値：318 万人】 ⇒ 指標評価 A ※2023 年度から目標値を上方修正 ◆污水处理人口普及率： 88.1%【期待値：88.8%】 ⇒ 指標評価 C  ▲コミュニティ交通バスの様子
--	---

10 災害・危機に強い県づくり

 順調である	☆「災害・危機に備えた県土整備や危機管理体制の充実強化」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、関係機関と連携し、防災情報の周知や、地域の関係者による避難行動要支援者の支援体制の整備により、地域の防災力の向上に取り組んでいく。 ☆「原子力安全対策の徹底」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、全ての原子力事業者に対し事故の未然防止対策の徹底を働きかけるなど、万が一の事故に備えた安全管理体制の構築を図っていく。 【主要指標等】 ◆地域の関係者による避難行動要支援者の支援体制を整備した市町村数： 23 市町村【期待値：22 市町村】 ⇒ 指標評価 A ※2023 年度から新たに追加 ◆原子力施設における事故・故障等の発生件数ゼロ（法令報告に該当するもの）： 0 件【期待値：0 件】 ⇒ 指標評価 A
--	---

Ⅲ「新しい人財育成」のチャレンジ

進捗状況	分析・対応
11 次世代を担う「人財」	
 順調である	☆「「知・徳・体」バランスのとれた教育の推進」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、教員の指導力向上による授業改善や児童生徒の主体的な学びを図りながら、バランスのとれた教育を推進していく。 ☆「新しい時代に求められる能力の育成」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、プログラミングや英語など、これからの時代に求められる能力の育成を推進していく。 【主要指標等】 ◆課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる生徒の割合： 81.4%【期待値：81.3%】⇒ 指標評価 A ◆全国レベルの中高校生向けプログラミング・コンテストの入賞組数： 5 組【期待値：4 組】⇒ 指標評価 A  ▲プログラミングの特別講座を受講する受講生
12 魅力ある教育環境	
 成果をあげつつある	★「時代の変化に対応した学校づくり」については引き続き強力な取組が求められ、ICT を効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実に取り組んでいく。 ★「次世代を担う「人財」の育成と自立を支える社会づくり」については引き続き強力な取組が求められ、不登校児童生徒の学びの場の確保など、児童生徒の社会的自立に向けた適切な支援の充実に取り組んでいく。 【主要指標等】 ◆大学が実施する特色ある教育カリキュラム数（2021～23 累計）： 4 件【期待値：3 件】⇒ 指標評価 A ※2023 年度から目標値を上方修正 ◆小中義務教育学校における不登校児童生徒が、学校内外の機関等での相談・指導等を受けている割合：62.0%（2022）【期待値：80.6%（2022）】⇒ 指標評価 D
13 日本一、子どもを産み育てやすい県	
 成果をあげつつある	☆「安心して子どもを育てられる社会づくり」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、放課後児童クラブの整備等を推進するなど、児童の安心・安全な居場所づくりに取り組んでいく。 ★「児童虐待対策の推進と困難を抱える子どもへの支援」については引き続き強力な取組が求められ、増加する児童虐待に対応するため、相談体制の充実と、里親等の社会的養護の受け皿確保を図っていく。 【主要指標等】 ◆放課後児童クラブの実施箇所数： 1,167 箇所【期待値：1,142 箇所】⇒ 指標評価 A ◆里親等委託率： 21.6%【期待値：33.0%】⇒ 指標評価 D  ▲放課後児童クラブの様子

14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城



成果を
あげつつ
ある

★「生涯にわたる学びと心豊かにする文化・芸術」については引き続き強力な取組が求められ、県立図書館における遠隔地貸出サービスや団体貸出サービスのさらなる普及、セミナー開催を通じた知の発信拠点としての役割強化等を通じた利用促進などにより、生涯学習の充実を図っていく。

★「スポーツの振興と遊びのある生活スタイル」については引き続き強力な取組が求められ、スポーツへの興味喚起やスポーツを始めようとする方へのサポートなどを通じて、生涯スポーツの振興を図っていく。

【主要指標等】

- ◆県立図書館の利用者数：
437,520人【期待値：479,521人】⇒ 指標評価 C
- ◆全国高校総合体育大会等での優勝数：
7種目【期待値：7種目】⇒ 指標評価 A
- ◆成人の週1回以上のスポーツ実施率：
53.3%【期待値：59.2%】⇒ 指標評価 D



▲ジュニアアスリート育成事業
(身体能力プログラム)

15 自分らしく輝ける社会



順調である

☆「女性が輝く社会の実現」については概ね期待どおりの成果をあげており、政策方針決定過程への女性の参画を促進するなど、女性が個性と能力を発揮し、あらゆる分野で活躍できる社会づくりを進めていく。

☆「働きがいを実感できる環境の実現」については期待どおりの成果をあげており、県内優良事例の普及啓発や経営者の意識改革など、県内企業の働き方改革を推進し、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指していく。

【主要指標等】

- ◆政策方針決定過程に参画する女性の割合
(県審議会等の女性委員の割合)：
44.4%【期待値：45.0%】⇒ 指標評価 B
- ◆本県の1時間当たりの労働生産性：
5,746円(2022)【期待値：5,427円(2022)】
⇒ 指標評価 A



いばらき女性活躍
働き方応援協議会

▲いばらき女性活躍・働き方応援協議会

IV「新しい夢・希望」のチャレンジ

進捗状況	分析・対応
16 魅力発信 No.1 プロジェクト  成果をあげつつある	☆「「茨城の魅力」発信戦略」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、メディアへの積極的な情報提供やアンテナショップを活用した県産品のPR、AIなどの先進技術の活用による戦略的なプロモーションによりメディア露出を図り、本県魅力を発信していく。 ★「県民総「茨城大好き！」計画」については引き続き強力な取組が求められ、若者に対してSNSを活用して本県魅力を紹介するなど、各属性に応じた戦略的な情報発信を行い、県民の郷土愛の醸成に取り組んでいく。 【主要指標等】 ◆本県情報のメディアへの掲載による広告換算額： 165億円【期待値：150億円】⇒ 指標評価 A ◆茨城県に「愛着を持つ」県民の割合： 73.7%【期待値：76.6%】⇒ 指標評価 D  ▲民放テレビ局におけるAI茨ひよりの取り上げ (R5.5)
17 世界に飛躍する茨城へ  順調である	☆「世界に広がるIBARAKIブランド」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、かんしょ、コメ、常陸牛を中心に販路拡大及び新市場の開拓を進めるとともに、地酒や加工食品とのクロス販売など戦略的な営業活動に取り組む。 ☆「世界に挑戦するベンチャー企業の創出（茨城シリコンバレー構想）」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、大学や研究機関と協働し、優れた技術シーズの発掘から事業化までを一貫して支援し、ベンチャー企業の創出と育成を図っていく。 【主要指標等】 ◆農林水産物及び工業製品等の輸出額： 245億円【期待値：272億円】⇒ 指標評価 B ◆ベンチャー企業が行った3億円/回以上の資金調達件数（2017～23累計）： 21社【期待値：20社】⇒ 指標評価 A  ▲農産品・加工食品等に係る海外販路開拓の取組 (R5.10)
18 若者を惹きつけるまちづくり  順調である	☆「若者に魅力ある働く場づくり」については概ね期待どおりの成果をあげており、就職マッチング機会の提供や、県内企業に対する採用力・PR力向上のための支援に取り組み、UIJターンの促進を図っていく。 ☆「若者を呼び込む茨城づくり」については期待どおりの成果をあげており、新たにオンラインコミュニティを構築するなど、本県魅力の浸透を図り、関係人口の更なる創出・拡大に取り組む。 【主要指標等】 ◆大学・高校卒業者の県内企業等への就職者数(2022～23累計)： 15,910人【期待値：16,780人】⇒ 指標評価 B ◆関係人口数（地域に関心を持ち、多様に関わる「関係人口数」）(2018～23累計)： 7,891人【期待値：6,910人】⇒ 指標評価 A  ▲地元の人々との交流会

19 デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進



成果を
あげつつ
ある

☆「先端技術による社会変革やデータの活用の加速化」については期待どおりの成果をあげており、今後ともスマート農林水産業の実現や省エネの取組の促進など、急速に進展するデジタル技術を活用し、あらゆる産業の競争力強化や社会課題の解決につなげていく。

★「スマート自治体の実現に向けた取組の推進」については引き続き強力な取組が求められ、市町村の行政手続のオンライン化等を推進し、市町村に対し技術的な支援を行いながら、県民の利便性向上や業務効率化を図っていく。

【主要指標等】

- ◆スマート農業技術の導入を促進し、
販売金額1億円以上を達成した農業経営体数：
0.4千経営体【期待値：0.4千経営体】 ⇒ 指標評価 A
- ◆4億円以上の売上高達成を目指し、
スマート林業技術を導入した林業経営体数（2020～23 累計）：
8経営体【期待値：7経営体】 ⇒ 指標評価 A
- ◆ICTを導入した養殖業経営体数（2022～23 累計）：
1経営体【期待値：0経営体】 ⇒ 指標評価 A
- ◆オンラインで全ての行政手続ができる自治体数：
1団体【期待値：3団体】 ⇒ 指標評価 D

20 活力を生むインフラと住み続けたいくなるまち



成果を
あげつつ
ある

★「未来の交通ネットワークの整備」については引き続き強力な取組が求められ、本県の発展基盤である陸・海・空の広域交通ネットワークの形成・充実に取り組むとともに、港湾・空港の更なる利活用を推進していく。

☆「人にやさしい、魅力あるまちづくり」については概ね期待どおりの成果をあげており、引き続き、安全な歩行空間の確保等に取り組むとともに、「住みたい・住み続けたい」と思える、魅力あるまちづくりに取り組んでいく。

【主要指標等】

- ◆重要港湾（茨城港・鹿島港）のコンテナ取扱貨物量：
61,013TEU【期待値：72,500TEU】 ⇒ 指標評価 D
- ◆県管理道路における通学路の歩道整備率：79.0%【期待値：79.3%】 ⇒ 指標評価 B

政策の進捗状況、施策及び主要指標の評価結果(2023年度)

1. 新しい豊かさ				現状値		2023実績					参考		目標値	
政策・施策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	2020	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2023 指標評価	2022 指標評価	2025	
1 質の高い雇用の創出														
政策評価	指標平均値	(1)成長分野等の企業の誘致												
	4.0	A	1	本社機能移転に伴う県外からの移転者・新規採用者数	人	1,016 (2018～20累計)	—	667 (2022～23累計)	680 (2022～23累計)	98%	B	A	1,360 (2022～25累計)	
			2	本社機能等の移転等を伴う新規立地件数	件	126 (2018～20累計)	—	87 (2022～23累計)	80 (2022～23累計)	108%	A	A	160 (2022～25累計)	
			3	県の支援により進出した外資系企業数	件	15 (2016～20累計)	—	30 (2016～23累計)	30 (2016～23累計)	100%	A	A	42 (2016～25累計)	
		(2)新たな産業用地の確保及び企業立地の加速化												
		A	4	工場の立地件数	件	196 (2018～20累計)	1	135 (2022～23累計)	110 (2022～23累計)	122%	A	A	220 (2022～25累計)	
			5	新規開発による産業用地の面積	ha	0	—	137 (2022～23累計)	107 (2022～23累計)	128%	A	A	200 (2022～25累計)	
(3)産業を支える人材の育成・確保														
A	6	基本情報技術者試験の茨城県合格者数	人	410	—	2,670 (2020～23累計)	10 (2020～23累計)	2,180 (2020～23累計)	122%	A	A	3,710 (2020～25累計)		
2 新産業育成と中小企業等の成長														
政策評価	指標平均値	(1)先端技術を取り入れた新産業の育成と新しい産業集積づくり												
	4.0	A	7	ベンチャー企業が行った3億円／回以上の資金調達件数	件	8 (2017～20累計)	—	21 (2017～23累計)	20 (2017～23累計)	105%	A	A	30 (2017～25累計)	
			8	製品・技術・サービスの創出件数	件	9 (2016～20平均)	—	34 (2022～23累計)	27 (2022～23累計)	125%	A	A	66 (2022～25累計)	
		(2)活力ある中小企業・小規模事業者の育成												
		A	9	県の支援により新製品等の開発や新ビジネスを創出した件数	件	34 (2022～23累計)	—	92 (2022～23累計)	74 (2022～23累計)	124%	A	A	150 (2022～25累計)	
			10	県の支援による県内中小企業のM&Aマッチング件数	件	10 (2019～20累計)	—	22 (2022～23累計)	19 (2022～23累計)	115%	A	A	42 (2022～25累計)	
		3 強い農林水産業												
政策評価	指標平均値	(1)農林水産業の成長産業化と未来の担い手づくり												
	3.3	B	11	生産農業所得（販売農家1戸あたり）	万円	366	10	411 (2022)	10	430 (2022)	70%	C	A	600
			12	民有林における売上高4億円以上の経営体数	経営体	1	—	3 (見込値)	3	100%	A	A	4	
			13	漁労収入1億円以上を達成した沿岸漁業経営体数	経営体	5	—	9	10	90%	B	A	12 (2020～25累計)	
		(2)県食材の国内外への販路拡大												
		B	14	県産農産物のうち重点品目の販売金額	億円	140	—	166	—	169	89%	B	A (目標値修正前)	178
		(3)農山漁村の活性化												
A	15	イノシシによる農作物被害金額	百万円	97 (2019)	31 (2019)	52.3 (2022、見込値)	—	64.4 (2022)	137%	A	A	48		
4 ビジット茨城 ～新観光創生～														
政策評価	指標平均値	(1)稼げる観光地域の創出												
	3.5	A	16	観光消費額	億円	2,101	—	(集計中)	—	3,240	100%	A	A	4,000
		(2)インバウンドの取り込み												
		B	17	外国人延べ宿泊者数	人泊	52,520	37	237,960	32	181,000	144%	A	D	260,000
			18	茨城空港の旅客数	千人	209	—	748	—	680	114%	A	B	850
			19	茨城港における外国クルーズ船の寄港回数	回	1 (2018～20累計)	—	3 (2022～23累計)	—	8 (2022～23累計)	37%	D	D	16 (2022～25累計)
		5 自然環境の保全・再生												
政策評価	指標平均値	(1)湖沼の水質浄化と身近な自然環境の保全												
	3.5	B	20	湖沼に流入する汚濁負荷量（COD）	t/年 霞ヶ浦 湖沼 牛久沼	11,260 [9,094] [1,723] [443]	—	10,934 [8,827] [1,680] [427]	—	10,903 [8,802] [1,675] [426]	91%	B	B	10,717 [8,660] [1,642] [415]
			(2)サステナブルな社会づくり											
			A	21	再生可能エネルギーの導入率	%	25.0	—	29.2 (2022)	—	28.7 (2022)	113%	A	A
		22		フードロス削減量	t	0	—	96 (2022～23累計)	—	90.0 (2022～23累計)	106%	A	A	300 (目標値修正前) (2022～25累計)

※ 2023年度の実績値は、概ね2024年7月上旬までに公表された数値を掲載。

※ 施策評価は、各主要指標の達成率から「A～D」の4段階で評価。なお、一つの施策に主要指標が複数ある場合には、達成率（0%未満は0%とする）の平均値により評価。

チャレンジ I 「政策」の進捗状況		施策評価結果(チャレンジ I)					主要指標評価結果(チャレンジ I)				
・「順調である」	5	A	B	C	D	計	A	B	C	D	計
・「成果をあげつつある」	0	8	4	0	0	12	16	4	1	1	22
・「取組の強化が求められる」	0	(66.7%)	(33.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)	(72.7%)	(18.2%)	(4.5%)	(4.5%)	(100.0%)

※ 各項目の割合の計は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。

Ⅱ. 新しい安心安全																
政策・施策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	現状値		2023実績			参考	目標値				
						2020	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2023 指標評価	2022 指標評価	2025			
6 県民の命を守る地域保健・医療・福祉																
 成果をあげつつある	2.5	政策評価	指標平均値	(1)医療・福祉人材確保対策												
				B	23	最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科の必要医師数	人	2.2	—	7.2	—	7.5	94%	B	B	7.5 (2022)
					24	特定看護師数	人	96 (2019)	6 (10万人当たり)	300	—	302	99%	B	A (目標値修正前)	422
					25	介護職員数	人	42,001 (2019)	—	43,548 (2022)	—	45,724 (2022)	41%	D	C	49,020
				(2)地域における保健・医療・介護提供体制の充実												
				C	26	救急要請から医療機関への搬送までに要した時間	分	43.3 (2019)	42	48.3 (2022)	41	47.2 (2022)	0%	D	D	全国平均以下
					27	訪問診療を実施している診療所・病院数	箇所	421	—	454	—	453	103%	A	B	475
				(3)精神保健対策・自殺対策												
				D	28	自殺者数（人口10万人あたり）	人	16.7 (2019)	18	18.1 (2022)	19	14.6 (2022)	-66%	D	D	10.4
				(4)健康危機への対応力の強化												
				A	29	業務継続計画（BCP）を整備している病院数（災害対応BCP）	箇所	100 (2021)	—	145	—	136	125%	A	A	174
						業務継続計画（BCP）を整備している病院数（感染症対応BCP）		51 (2021)	—	115	—	111	106%	A	C	174
7 健康長寿日本一																
 成果をあげつつある	2.3	政策評価	指標平均値	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり												
				C	30	特定健康診査実施率	%	55.4 (2019)	19	54.8 (2021)	25	59.0 (2021)	-16%	D	D	65.9
					31	地域ケア会議における困難事例の支援開始割合	%	94.4	—	98.6	—	97.7	127%	A	A	100
				(2)認知症対策の強化												
				B	32	認知症の人にやさしい事業所認定数	事業所	0	—	1,932 (2022～23累計)	—	2,600 (2022～23累計)	74%	C	A	5,000 (2022～25累計)
					33	認知症の人が交流できる場の数	箇所 (～2020累計)	126	—	164 (～2023累計)	—	165 (～2023累計)	99%	B	A	209 (～2025累計)
				(3)がん対策												
				C	34	がん検診受診率（市町村国保加入者に係るもの）	%	12.7	35	15.2 (2022)	—	17.0 (2022)	58%	C	D	20.0
8 障害のある人も暮らしやすい社会																
 順調である	3.5	政策評価	指標平均値	(1)障害者の自立と社会参加の促進												
				B	35	基幹相談支援センターの設置率	%	31.8	33	61.4	—	70.0	77%	B	D	100
				(2)障害者の就労機会の拡大												
				A	36	就労継続支援B型事業所における平均工賃（月額）	円	14,349	39	15,726 (2022)	39 (2022)	16,413 (2022)	66%	C	B	19,211
					37	民間企業における障害者雇用率	%	2.19	31	2.32	37	2.28	143%	A	C	2.40
9 安心して暮らせる社会																
 成果をあげつつある	2.3	政策評価	指標平均値	(1)地域の日常生活の維持確保とコミュニティ力の向上												
				A	38	コミュニティ交通の利用者数	万人	237	—	344	—	318	132%	A	A (目標値修正前)	336
					39	NPO法人等と企業が連携した地域貢献活動（事業）数	件	0	—	68 (2022～23累計)	—	65 (2022～23累計)	104%	A	A (目標値修正前)	150 (2022～25累計)
					40	県内の地域活動団体数	件	252 (～2021累計)	—	303 (～2023累計)	—	300 (～2023累計)	101%	A	A	350 (～2025累計)
				(2)安心な暮らしの確保												
				C	41	食に対する不安を感じない県民の割合	%	55.4	—	56.8	—	55.0	100%	A	D	55以上
					42	水道普及率	%	94.9 (2019)	36	95.3 (推計値)	—	96.9	19%	D	D	98.3
					43	汚水処理人口普及率	%	86.0	31	88.1	—	88.8	74%	C	C	90.8
				(3)犯罪や交通事故の起きにくい社会づくり												
				D	44	不法投棄発生件数	件	197	—	105	—	125	127%	A	A	80以下
					45	住んでいる地域の治安が良いと感じている県民の割合	%	44.3	—	35.4	—	47.7	-261%	D	D	50.0
					46	交通事故死者数	人	84	(ワースト) 11	93	(ワースト) 10	76	-112%	D	D	70以下
10 災害・危機に強い県づくり																
 順調である	4.0	政策評価	指標平均値	(1)災害・危機に備えた県土整備や危機管理体制の充実強化												
				A	47	地域の関係者による避難行動要支援者の支援体制を整備した市町村数	市町村	10 (2022)	—	23	—	22	108%	A	— (指標変更)	44
					49	河川改修率	%	58.1	—	58.6	—	58.5	125%	A	A	58.9
					50	土砂災害防止施設の整備率	%	24.6	—	25.1	—	25.1	100%	A	A	25.4
				(2)原子力安全対策の徹底												
				A	51	原子力施設における事故・故障等の発生件数ゼロ（法令報告に該当するもの）	件	1	—	0	—	0	100%	A	D	0
				(3)健康危機への対応力の強化												
				A	52	業務継続計画（BCP）を整備している病院数（災害対応BCP・再掲）	箇所	100 (2021)	—	145	—	136	125%	A	A	174
						業務継続計画（BCP）を整備している病院数（感染症対応BCP・再掲）		51 (2021)	—	115	—	111	106%	A	C	174

※ 2023年度の実績値は、概ね2024年7月上旬までに公表された数値を掲載

※ 施策評価は、各主要指標の達成率から「A～D」の4段階で評価。なお、一つの施策に主要指標が複数ある場合には、達成率（0%未満は0%とする）の平均値により評価。

チャレンジⅡ「政策」の進捗状況			施策評価結果(チャレンジⅡ)					主要指標評価結果(チャレンジⅡ)				
			A	B	C	D	計	A	B	C	D	計
・「順調である」	:	2	A	B	C	D	計	A	B	C	D	計
・「成果をあげつつある」	:	3	6	3	4	2	15	16	4	4	7	31
・「取組の強化が求められる」	:	0	(40.0%)	(20.0%)	(26.7%)	(13.3%)	(100.0%)	(51.6%)	(12.9%)	(12.9%)	(22.6%)	(100.0%)

※ 各項目の割合の計は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。

Ⅲ. 新しい人財育成			No		指標名		単位	現状値		2023実績				参考 2022 指標評価		目標値
政策・施策の進捗状況		施策評価						2020	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2023 指標評価			2025
11 次世代を担う「人財」																
 順調である	4.0	政策評価	指標平均値	(1)「知・徳・体」バランスのとれた教育の推進												
				A	53	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる生徒の割合	%	78.6 【中3】(2019)	9	81.4	—	81.3	103%	A	A	83.0
					53-2	児童生徒の学力の全国順位	位	21 (2022)	—	15	—	17	150%	A	— (指標追加)	10
				(2)新しい時代に求められる能力の育成												
				A	54	全国レベルの中高生向けプログラミング・コンテストの入賞組数	組	1	17	5	10	4	133%	A	A	6
					55	IBARAKI ドリーム・パス事業への応募企画数	件	104	—	244	—	352	56%	C	A	528
					56	大学進学率	%	49.0 (2019)	17	54.0	17	49.6	833%	A	A	52.0
				(3)地域力を高める人財育成												
				A	57	生涯学習ボランティア派遣人数	人	4,564	—	6,283	—	6,020	118%	A	A	6,760
12 魅力ある教育環境																
 成果をあげつつある	2.0	政策評価	指標平均値	(1)時代の変化に対応した学校づくり												
				C	58	児童生徒のICT活用を指導することが「できる」と答えた教員の割合（小中学校）	%	32.0	—	48.3	—	59.2	59%	C	D	100
					58	児童生徒のICT活用を指導することが「できる」と答えた教員の割合（高校）	%	24.5	—	27.6	—	54.7	10%	D	D	100
					59	大学が実施する特色ある教育カリキュラム数	件	0	—	4 (2021～23累計)	—	3 (2021～23累計)	133%	A	A	5 (2021～25累計)
				(2)次世代を担う「人財」の育成と自立を支える社会づくり												
				C	60	障害児に対する個別的教育支援計画の作成率（幼児教育・保育施設）	%	63.2	—	100	—	100	100%	A	A (目標値修正前)	100
61	小中義務教育学校における不登校児童生徒が、学校内外の機関等での相談・指導等を受けている割合	%	59.5		—	62.0 (2022)	—	80.6 (2022)	11%	D	D	100				
13 日本一、子どもを産み育てやすい県																
 成果をあげつつある	2.7	政策評価	指標平均値	(1)結婚・出産の希望がかなう社会づくり												
				B	62	妊娠・出産について満足している者の割合	%	84.4	26	87.3 (2022)	21 (2022)	89.9 (2022)	52%	C	D	92.3
					63	県の結婚支援事業による成婚数	組	2,352 (2006～20累計)	—	2,790 (2006～23累計)	—	2,750 (2006～23累計)	101%	A	A	3,050 (2006～25累計)
				(2)安心して子どもを育てられる社会づくり												
				A	64	保育所等の待機児童数	人	193	34	5	19	0	97%	B	B	0
					65	放課後児童クラブの実施箇所数	箇所	1,074	—	1,167	—	1,142	136%	A	A	1,156 (2024)
				(3)児童虐待対策の推進と困難を抱える子どもへの支援												
D	66	里親等委託率	%	17.4	37	21.6	—	33.0	26%	D	D	48.0				
14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城																
 成果をあげつつある	2.0	政策評価	指標平均値	(1)生涯にわたる学びと心豊かにする文化・芸術												
				C	67	県立図書館の利用者数	人	383,617 (2019)	—	437,520	—	479,521	56%	C	A	575,425
				(2)スポーツの振興と遊びのある生活スタイル												
				C	68	全国高校総合体育大会等での優勝数	種目	3	25	7	30	7	100%	A	A	9
69	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	50.5		—	53.3	9	59.2	32%	D	B	65.0				
15 自分らしく輝ける社会																
 順調である	3.3	政策評価	指標平均値	(1)多様性を認め合い、一人ひとりが尊重される社会づくり												
				B	70	多文化共生サポーターバンクへの新規登録者数	人	914 (2014～20累計)	—	1,224 (2014～23累計)	—	1,200 (2014～23累計)	102%	A	A	1,400 (2014～25累計)
					71	人権は大切であると感じている県民の割合	%	80.3	—	85.8	—	86.0	96%	B	A	90.0
				(2)女性が輝く社会の実現												
				B	72	政策方針決定過程に参画する女性の割合（県審議会等の女性委員の割合）	%	37.5	23	44.4	—	45.0	92%	B	A	50.0
				(3)働きがいを実感できる環境の実現												
A	73	本県の1時間当たりの労働生産性	円	5,219	—	5,746 (2022)	—	5,427 (2022)	253%	A	A	5,740				
	74	県内企業の1か月当たり所定外労働時間数	時間	10.8	46	9.9	31	9.4	65%	C	D	8.5				

※ 2023年度の実績値は、概ね2024年7月上旬までに公表された数値を掲載

※ 施策評価は、各主要指標の達成率から「A～D」の4段階で評価。なお、一つの施策に主要指標が複数ある場合には、達成率（0%未満は0%とする）の平均値により評価。

チャレンジⅢ「政策」の進捗状況			施策評価結果(チャレンジⅢ)					主要指標評価結果(チャレンジⅢ)				
・「順調である」	:	2	A	B	C	D	計	A	B	C	D	計
・「成果をあげつつある」	:	3	5	3	4	1	13	12	3	5	4	24
・「取組の強化が求められる」	:	0	(38.5%)	(23.1%)	(30.8%)	(7.7%)	(100.0%)	(50.0%)	(12.5%)	(20.8%)	(16.7%)	(100.0%)

※ 各項目の割合の計は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。

Ⅳ. 新しい夢・希望			No		指標名		単位		現状値		2023実績			参考		目標値								
政策・施策の進捗状況			施策評価						2020		全国順位等		全国順位等		期待値		達成率		2023 指標評価		2022 指標評価		2025	
16 魅力発信No.1プロジェクト																								
政策評価			指標平均値		(1)「茨城の魅力」発信戦略																			
	成果を あげつつ ある	2.5	A		75	本県情報のメディアへの掲載による 広告換算額		億円	101	—	165	—	150	130%	A	A	170							
			(2)県民総「茨城大好き！」計画																					
			D		76	茨城県に「愛着を持つ」県民の割合		%	72.1	—	73.7	—	76.6	35%	D	A	80.0							
17 世界に飛躍する茨城へ																								
政策評価			指標平均値		(1)世界に広がるIBARAKIブランド																			
	順調である	3.5	B		77	農林水産物及び工業製品等の輸出額		億円	103	—	245	—	272	84%	B	A (目標値修正前)	327							
			(2)世界に挑戦するベンチャー企業の創出(茨城シリコンバレー構想)																					
			A		78	ベンチャー企業が行った3億円／回 以上の資金調達件数(再掲)		件	8 (2017～20累計)	—	21 (2017～23累計)	—	20 (2017～23累計)	105%	A	A	30 (2017～25累計)							
					79	宇宙関連サービスの提供又は宇宙機 器・部品の納品による売上を得た宇 宙ベンチャー・企業数		社	2 (2020～23累計)	—	11 (2020～23累計)	—	8 (2020～23累計)	137%	A	A	12 (2020～25累計)							
18 若者を惹きつけるまちづくり																								
政策評価			指標平均値		(1)若者に魅力ある働く場づくり																			
	順調である	4.0	A		80	大学・高校卒業者の県内企業等への 就職者数		人	8,267	—	15,910 (2022～23累計)	—	16,780 (2022～23累計)	94%	B	B	33,900 (2022～25累計)							
				81	本社機能移転に伴う県外からの移転 者・新規採用者数(再掲)		人	1,016 (2018～20累計)	—	667 (2022～23累計)	—	680 (2022～23累計)	98%	B	A	1,360 (2022～25累計)								
				82	本社機能等の移転等を伴う新規立地 件数(再掲)		件	126 (2018～20累計)	—	87 (2022～23累計)	—	80 (2022～23累計)	108%	A	A	160 (2022～25累計)								
			A		83	関係人口数(地域に関心をもち、多 様に関わる「関係人口数」)		人	2,780 (2018～20累計)	—	7,891 (2018～23累計)	—	6,910 (2018～23累計)	114%	A	A (目標値修正前)	10,910 (2018～25累計)							
19 デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進																								
政策評価			指標平均値		(1)先端技術による社会変革やデータの活用を加速化																			
	成果を あげつつ ある	2.0	B		84	スマート農業技術の導入を促進し、 販売金額1億円以上を達成した農業 経営体数		千経営体	0.3	—	0.4 (推計値)	—	0.4	100%	A	A	0.5							
				85	4億円以上の売上高達成を目指し、 スマート林業技術を導入した林業経 営体数		経営体	1	—	8 (2020～23累計)	—	7 (2020～23累計)	114%	A	A	10 (2020～25累計)								
				86	ICTを導入した養殖業経営体数		経営体	0	—	1 (2022～23累計)	—	0 (2022～23累計)	100%	A	D	3 (2022～25累計)								
				87	県土木部発注工事においてICTを活用 した工事件数の割合		%	13.6	—	100	—	100	100%	A	A	100								
				88	製品・技術・サービスの創出件数 (再掲)		件	9 (2016～20年平均)	—	34 (2022～23累計)	—	27 (2022～23累計)	125%	A	A	66 (2022～25累計)								
				89	児童生徒のICT活用を指導すること が「できる」と答えた教員の割合 (小中学校・再掲)		%	32.0	—	48.3	—	59.2	59%	C	D	100								
					90	児童生徒のICT活用を指導すること が「できる」と答えた教員の割合 (高校・再掲)		%	24.5	—	27.6	—	54.7	10%	D	D	100							
			B		91	基本情報技術者試験の茨城県合格者 数(再掲)		人	410 (2020～23累計)	—	2,670 (2020～23累計)	10 (2020～23累計)	2,180 (2020～23累計)	122%	A	A	3,710 (2020～25累計)							
(2)スマート自治体の実現に向けた取組の推進																								
			D		91	オンラインで全ての行政手続ができる 自治体数		団体	1	—	1	—	3	0%	D	D	45 (県内全自治体)							
20 活力を生むインフラと住み続けたいくなるまち																								
政策評価			指標平均値		(1)未来の交通ネットワークの整備																			
	成果を あげつつ ある	2.5	C		92	県管理道路の改良率		%	77.1	22	78.1	19	78.9	55%	C	D	80.1							
				93	重要港湾(茨城港・鹿島港)のコン テナ取扱貨物量		TEU	66,496	—	61,013	—	72,500	~91%	D	D	78,500								
				94	茨城空港の旅客数(再掲)		千人	209	—	748	—	680	114%	A	B	850								
(2)人にやさしい、魅力あるまちづくり																								
			B		95	県管理道路における通学路の歩道整 備率		%	77.6	—	79.0	—	79.3	82%	B	B	80.4							

※ 2023年度の実績値は、概ね2024年7月上旬までに公表された数値を掲載

※ 施策評価は、各主要指標の達成率から「A～D」の4段階で評価。なお、一つの施策に主要指標が複数ある場合には、達成率（0%未満は0%とする）の平均値により評価。

チャレンジⅣ「政策」の進捗状況		施策評価結果(チャレンジⅣ)					主要指標評価結果(チャレンジⅣ)				
・「順調である」	2	A	B	C	D	計	A	B	C	D	計
・「成果をあげつつある」	3	4	3	1	2	10	12	4	2	4	22
・「取組の強化が求められる」	0	(40.0%)	(30.0%)	(10.0%)	(20.0%)	(100.0%)	(54.5%)	(18.2%)	(9.1%)	(18.2%)	(100.0%)

「政策」の進捗状況(合計)		施策評価結果(合計)					主要指標評価結果(合計)				
・「順調である」	11	A	B	C	D	計	A	B	C	D	計
・「成果をあげつつある」	9	23	13	9	5	50	56	15	12	16	99
・「取組の強化が求められる」	0	(46.0%)	(26.0%)	(18.0%)	(10.0%)	(100.0%)	(56.6%)	(15.2%)	(12.1%)	(16.2%)	(100.0%)

※ 各項目の割合の計は四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。

※ 主要指標は95指標であるが、「業務継続計画（BCP）を整備している病院数」（No.29/No.52）を災害対応BCPと感染症対応BCPの2区分で整理しており、また、「児童生徒のICT活用を指導することが『できる』と答えた教員の割合」（No.58/No.89）が小中学校・高校別の数値となっていることから、上記「『政策』の進捗状況（合計）」の表の「主要指標評価結果（合計）」の計が「99」となっている。